

## 奄美市最上位計画の「計画名称（案）」及び「将来像（案）」について

奄美市における新たな最上位計画を策定するにあたり、「計画名称」及び「将来像」について各3案を考えました。

このことについて、皆様からのご意見を募集いたします。

### 1. 計画名称（案）について

計画名称案については、市民の皆様手に取っていただき、ページを開いていただけるよう、柔らかな印象となる名称案を考えています。なお、基本的に「カタカナ語」の使用は控えていますが、意見募集における案においてはこの限りではありません。

#### 案1 「奄美市 私のしまさばくり読本」（通称：奄美市さばくり読本）

意図：新たな最上位計画は、単に行政による事業を定めるものにとどまらず、市民や民間企業等がそれぞれできることを実践し、みんなでよりよい奄美市をつくっていくための計画と位置づけられています。

このことから、それぞれが実行できることを考えるきっかけとして「手に取ってほしい」との想いを込めた名称案としています。

#### 案2 「未来の奄美市づくり計画」（通称：未来計画）

意図：最上位計画をつくるにあたり、「未来の子ども達のための計画を」とのご意見をいただきました。このことから、本計画は目の前に迫る課題も解決しながら、「未来の奄美市」をつくるための計画であると言えます。

新たな最上位計画とはどういうものかを、率直に表現する名称案としています。

#### 案3 「奄美市 次の世代への道しるべ2024」（通称：道しるべ2024）

意図：案1で示した「みんなで取り組む計画」であることを「道しるべ（それぞれの取組の手引き）」の言葉に、案2で示した「未来の子ども達のための計画」であることを「次の世代への」に込めた名称案としています。

## 2. 将来像について

将来像は、「長期的（現案では15年）に奄美市のなりたい姿」を示す「主題」と、「短中期的（現案では4年）に目指す状態」を示す「副題」の2本立ての構成にしたいと考えています。

また、主題に据えている「しあわせの島」という言葉については、現在、本市が策定しております『奄美市「攻め」の総合戦略2020』において将来像として示しているものです。この「しあわせの島」の代案についても、今回の意見募集の対象としています。

### 2-1. 将来像「主題」について

#### 案1 自然・ひと・文化つながる しあわせの島

意図：合併により奄美市が誕生したときに策定された『奄美市市町村建設計画』、平成23年度から令和2年度までを計画期間とする前『奄美市総合計画』における将来像は「自然・ひと・文化がともにつくるきよらの郷（しま）」というものでした。

本市の特徴である「自然・ひと・文化」のキーワードを踏襲した上で、過去～現在～未来へとその宝をつなげていく、自然・ひと・文化がそれぞれに繋がって奄美市の個性を形取っていくことをイメージし「つながる」の言葉を使用しています。

#### 案2 自然・ひと・文化が紡ぐ しあわせの島

意図：「自然・ひと・文化」の言葉の使用については案1-1と同様ですが、それぞれの個性をいかして奄美市を形作っていくことを表現するため、「紡ぐ」という言葉を使用しています。

#### 案3 楽しさ見つかる やさしさ溢れる しあわせの島

意図：高校生アンケートにおいて、「将来奄美市になっていて欲しい姿」として「楽しい」という言葉が多く使われていました。このことから、現在の若い世代が望む将来の姿の実現と、奄美市の特徴としても挙げられる「人のやさしさ、温かさ」を後世にわたって残していく思いを込めた案です。

## 2-2. 将来像「副題」について

### 案1 人口減少に立ち向かう 課題解決モデル都市 奄美市

意図：全国と同様、奄美市においても人口減少は働き手不足や少子化の加速など、多くの問題の原因となっています。また、都市部と集落で構成される奄美市は、外海離島という条件もあり、全国的な課題が先んじて現れている地域でもあります。

このことから、奄美市全体として人口減少問題に取り組んでいくこと、その中で様々な取組にチャレンジし、全国的な課題解決のモデルと言える地域となることを目指すことを表しています。

### 案2 わたしたちの懐かしい未来都市 奄美市

意図：世界自然遺産登録は、私たちの周りにある自然環境が国際的にも高い評価をうける世界の宝であるという誇りを与えるものになりました。一方、私たちには、この自然環境を守り、受け継ぐ責任を担っています。このことは、自然環境のみならず、文化や人のつながりにおいても同様です。

そのため、本市が大切にすべき先人から受け継いできた島の良さを「変わるべきもの」「変えてはいけないもの」をみんなで考え、古くから残る「懐かしさ」と、現代的な問題に対応する「未来都市」を融合させたものとしています。

### 案3 自然もひと多様性を尊重し合えるまち 奄美市

意図：生物多様性に大きな価値を認められた本市の自然環境があります。また、社会状況の変化などにより個々人の価値観も多様化しており、働き方も含めたライフスタイルも多様化しています。障がいがない人もある人も、年代も性別に関わらず、それぞれの価値観が尊重され、一人ひとりがそれぞれの役割をもって、社会参加することも求められています。

現代的なキーワードである「多様性」を使用し、市全体が融和し、互いが尊重し合える奄美市となることをイメージしています。